



ケアプラン作成時の注意点 ～令和4年度の振り返り～

令和5年度が始まりました。日ごろから、介護保険事業の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今回は、昨年度ケアプラン点検個別面談でケアマネジャーからの質問や講師から指摘を受けることが多かった点についてお伝えします。

令和5年度の重点確認事項

今年度茨木市のケアプラン点検では、令和4年度の振り返りからケアプラン作成時の注意点を重点確認事項として5つ挙げさせていただきます。

- ① 目標設定を具体的にする。
- ② ニーズと目標に整合性を持たせる。
- ③ 加算の対象になっているサービス項目について、ニーズとの整合性や必要性を確認する。
- ④ 基本チェックリストをアセスメントに活用する。
- ⑤ 福祉用具の必要性、品目や設置場所をアセスメントやプランに記載する。

① 目標の具体化

目標を数値化したり、どこに行くかの場所を設定する等、具体的な状況や状態像で表現する。

- ・歩行が安定する
 - ・自分の役割を継続できる
 - ・糖尿病の悪化を防ぐ
- 
- ・休憩せずに〇〇公園まで行く
 - ・ポストまで新聞を取りに行く役割を継続する
 - ・血糖値が〇〇未満を維持する

② ニーズと目標の整合性

ケアプランのニーズと目標、援助内容が繋がっているか確認しましょう。



生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度	期間
家に閉じこもりがちなため、他者と交流する機会を持ちたい。	自宅内の移動がスムーズに行える。		定期的に運動し、筋力維持を図る。		他者との交流、機能訓練による身体機能の維持。(個別機能訓練加算)		通所介護			

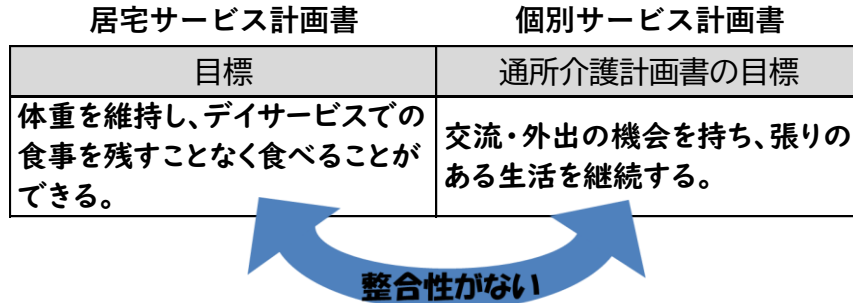
整合性がない

○

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容					
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	※1	サービス種別	※2	頻度	期間
庭先で転倒せず花の水やりを続けたい。	庭の段差でつまづかず移動できる。		足をしっかりあげて歩けるようになる。		機能訓練による身体機能の維持。(個別機能訓練加算)		通所介護			
家に閉じこもりがちなため、他者と交流する機会を持ちたい。	日常的に外出をし、多くの人との交流をもつ。		週に一度は外出し、人と話をする。		他者との交流、レクリエーションへの参加 地域行事への参加		通所介護 本人、家族			

③ 加算の必要性、ニーズとの整合性の確認

- 加算の対象になっているサービス項目について、ニーズの整合性や必要性を確認しましょう。
- 居宅サービス計画書と個別サービス計画書の整合性を確認しましょう。



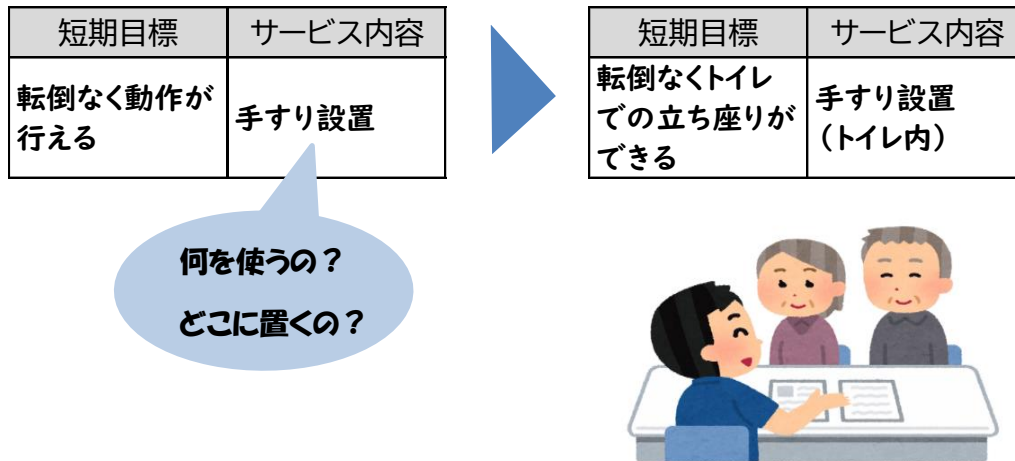
④ 基本チェックリストの活用

基本チェックリストの結果からケアプランで課題とするかどうかを検討しましょう。（特に転倒リスクや口腔ケアの項目等）

日常会話から聞き出しにくい情報については、基本チェックリストを糸口として活用しましょう。

⑤ 福祉用具の必要性、品目、設置場所を明記

福祉用具の必要性、品目や設置場所をアセスメントシートやプランに記載しましょう。



令和5年度のケアプラン点検では、昨年度の振り返りを踏まえ、上記の5つの項目を重点的に確認していきます。保険者とケアマネジャーが双方向で確認しながら、自立支援に資する適切なケアプラン作成ができるよう一緒に学びを深めていきましょう。